

ミズベリングハママツ バージョン アップを宣言

浜松河川国道

国土交通省浜松河川国道事務所は20日、浜松市内の水辺の新しい活用可能性を創造していくプロジェクト「ミズベリングハママツ」のクリスマス会議を開いた。NPO法人や地元商工会などの関係者が出席した「写真」。

尾藤文人所長は、「ミズベリングハママツ」のコンセプトを説明した



後「観光、環境、稼ぐ、広報、共感の5K戦略を基に、出会った人がつながることでビジネスが生まれるようにしていきたい」とあいさつした。

会議では、11月の会議

で生まれたビジネスの種についてプレゼンテーションを実施。また、都田建設の蓬台浩明社長が北欧をイメージしたあらゆる体験ができる同社「ドロフーズ」の取り組みを紹介した他、構造デザイナ―の渡邊竜一氏が長崎県出島の「出島復元プロジェクト」などを紹介した。

最後に、「ミズベリングハママツ」からさらに水辺の対象範囲を広げ「ミズベリング遠江（とおとつみ）」にバージョンアップすることを宣言し閉会した。